

I. 一般目標 (General Instructional Objective)

内科学全般における基本的知識と技量を学ぶとともに、呼吸器内科学、神経内科学および膠原病内科学の専門的知識および特殊技術を修得する。

II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

1. 全身症状・徴候を判断し鑑別診断に役立てることができる。
2. 診療に必要な診察法、検査に習熟し、指導医と実施し、結果を判定評価することができる。
 - ・全身の診察(視診、触診、聴診、打診など)
 - ・血液(動脈ガス分析)、喀痰、髄液および胸水検査、内視鏡検査(気管支内視鏡など)
 - ・画像検査(脊椎・四肢・胸部X線、胸部または頭部・脊椎CTおよびMRやエコーなど)
 - ・機能検査(肺機能、脳波、各種誘発電位、末梢神経伝導速度、針筋電図など)
 - ・病理検査(経気管支肺生検、胸腔鏡下肺生検、筋生検、皮膚生検など)
 - ・呼吸管理(酸素療法、侵襲・非侵襲的人工呼吸管理、気管切開管理など)
 - ・胸腔ドレナージ(洗浄、癒着術など)
 - ・感染予防対策および管理
 - ・抗がん剤、抗菌薬、生物学的製剤、副腎皮質ステロイドおよび免疫抑制剤の適正使用および実施、麻薬管理
3. 剖検例(CPC)を経験し、発表する。

III. 方略 (Learning Strategies)

病棟・外来でのトレーニング、学会参加(スライド作製、発表、症例報告など)、カンファレンスなど

IV. 経験できる疾患・手術など

① 呼吸器疾患

新生物(肺がん、縦隔および胸膜腫瘍)、びまん性疾患(間質性肺炎、びまん性汎細気管支炎、過敏性肺臓炎、サルコイドーシスなど)、呼吸不全(ARDS、CO₂ナルコーシスなど)、COPD、気管支拡張症、気胸など

② アレルギー疾患

喘息、好酸球性肺炎、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症など

③ 感染症疾患

呼吸器感染症(肺炎、結核、真菌症など)、神経感染症(脳炎、髄膜炎など)、HIV感染症など

④ 神経疾患

変性疾患(パーキンソン病、脊髄小脳変性症など)、自己免疫疾患(重症筋無力症など)、脳血管障害(脳卒中、脳血栓症など)、痴呆症(若年性アルツハイマー病など)、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、末梢神経疾患(ギラン・バレー症候群など)、遺伝性疾患(筋ジストロフィーなど)、代謝性疾患(ミトコンドリア異常症、アミノ酸代謝異常など)、認知症など

⑤ 膠原病疾患

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎・多発筋炎、シェーグレン症候群、混合性結合組織病(MCTD)、Still病、血管炎症候群(MPA GPA EGPA 高安動脈炎など)、自己炎症症候群など

V. 評価 (Evaluation)

Minimum EPOC、症例発表による自己評価・指導医評価、指導医・看護師などによる形式的評価。

VI. 指導者と研修施設

1. 診療部長 星野 友昭
2. 指導責任者 東 公一
3. 指導医 谷脇 考恭、海江田 信二郎、木下 隆
4. 研修施設 久留米大学病院、久留米大学医療センター、朝倉医師会病院、公立八女総合病院など

VII. 週間予定

月	8:30～	病棟・外来業務
火	8:30～	病棟・外来業務
	15:00～	膠原病内科回診・カンファ
水	8:00～	医局会・セミナー
	9:00～	総回診・病棟業務
	14:30～	肺がんカンファ
	17:00～	術前合同カンファ
木	8:30～	病棟・外来業務
	15:00～	神経内科回診・カンファ
金	8:30～	病棟・外来業務
土	8:30～	病棟業務



水曜日の朝のセミナー



教授回診